

## 沖縄県医師会から年末年始に向けた県民へのメッセージ

さて、昨年来世界各地で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、本県でも、この2年間で4度の緊急事態宣言が発せられ、県民は長期間に及ぶ自粛生活を余儀なくされ疲弊したことと思います。

とりわけ、沖縄県の第5波はとても大きな波で、東京や大阪を頭一つ抜きん出て、多くの方々を飲み込み、多くの方々が生死を彷徨い続けました。8月25日に一日あたり過去最多となる809人まで増え、病床確保数に対する病床占有率は90%を超える状況となりました。公立病院・公的病院・大学病院と民間病院等の多くの病院がひとしく沢山のコロナ入院患者の診療にあたり、医療崩壊寸前状態から危機一髪で無事乗り越えることができました。

この様な中、県民の皆様の適切な予防行動とワクチン接種率の向上等により、患者数が著しく減少し、収束に向かいました。県民の皆様には心から感謝申し上げます。

さて、ここ2ヶ月落ち着いた状況が続いておりましたが、新たな変異株オミクロン株が世界的に急増しています。オミクロン株に関しては、未だ不明な点も多いのも事実ですが、WHOや米疾病対策センター等の知見やデータを見る限り、感染力は大きく、デルタ株の2~4倍のスピードで感染が広がっており、諸外国では現在流行の中心になっています。一方、重症化して入院するリスクはデルタ株に比べ50~80%低いとの(英国保健当局、南アフリカ国立伝染病研究所)報告もあります。

次なる感染拡大の波が懸念されるオミクロン株については、12月26日までに国内での感染者が245人、沖縄県内では12月17日に初めて確認されて以来、26日までに10人となっており、全国各地で感染者数が徐々

に増加し始めていることを危惧しています。

現状を踏まえると、オミクロンの感染者がいつ急増してもおかしくない状況にあります。特に年末年始は外出や県外との往来が増え、忘年会・新年会で人と接触する機会が多くなります。

そこで沖縄県医師会からのお願いです。

一つ、オミクロンと言えども感染対策はこれまでと変わらず、「マスク着用」「手洗い」「手指消毒」「三密回避」など、基本的な感染予防と行動を取ることが極めて重要です。その行動が感染を最小限に抑えることにも繋がります。

二つ、忘年会・新年会の注意を呼び掛けます。できるだけ少人数で、大声、長時間はさける、話をする際はマスク着用をお願いいたします。

三つ、年末年始には帰省者も多くなります。帰省者におかれましては、来県前に検査を受けることを強く進めます。また健康状態等に十分注意して行動してください。家族以外との接触も控えるようにして下さい。県民も「帰省者との面会の際は注意」して下さい。「年末年始のあいさつ回りは玄関先で短時間にすませること」、「初詣は混雑の時間をさけること」、「大人数での集会はなるべく控えること」をお願いいたします。

四つ、年明けからは3回目のワクチン接種が始まります。市町村の指導に従って積極的に接種しましょう。まだワクチン接種を済ませていない人は早めに接種してください。ワクチンは「発症予防効果」、「重症化の予防効果」、「他者への感染予防効果」が期待され、極めて有効です。

五つ、年末年始は休診する医療機関も多く、医療が手薄になりますので、

特段の注意をお願いいたします。

県民の皆様には、年末年始を迎えて活発な活動時期となりますが、健康と生命（いのち）を守るため、医療を守るため、コロナ対策をくれぐれも忘れずに、心して感染予防・感染対策を強くお願いいたします。

令和3年12月27日

沖縄県医師会

会長 安里哲好